

# 令和元年度（2019年度）の基金活用事業の概要と成果

## 令和元年度「熊本版」官民協働海外留学支援事業（トビタテ！留学JAPAN地域人材コース） [「熊本と世界をつなぐ」グローバル人材育成事業]（担当課：企画課）

将来の熊本地域の発展に貢献するグローバル人材を育成するため、県内大学生等6名に対し、実践的な海外留学のための奨学金、授業料、往復渡航費等を助成しました。6名は昨年8月から順次それぞれの留学先に渡航し、農業、販路拡大、観光促進等のテーマに取り組んでいます。

### 海外研修の内容

|   | 氏名                 | 所属                 | 留学先(テーマ)・留学期間                  |
|---|--------------------|--------------------|--------------------------------|
| 1 | すえなが ひろゆき<br>末永 浩幸 | 崇城大学<br>3年生        | タイ(農業)約5カ月                     |
| 2 | ごとう ひろし<br>後藤 寛    | 熊本県立大学<br>4年生      | フィリピン、アメリカ(県産品販路拡大)<br>約10カ月   |
| 3 | ほり ももな<br>堀 百菜     | 熊本県立大学<br>3年生      | フィリピン、イギリス、アメリカ<br>(観光促進)約10カ月 |
| 4 | さくもと あおい<br>作本 青依  | 東京外国語大学<br>3年生     | タイ(観光促進)<br>約10カ月              |
| 5 | かさはら さくら<br>笠原 桜   | 熊本大学<br>3年生        | オーストラリア(観光促進)<br>約12カ月         |
| 6 | かわかみ ゆうた<br>川上 雄大  | 熊本高等専門学校<br>専攻科1年生 | カナダ(工学)<br>約1カ月                |

### 助成対象者の声

- 熊本の柑橘加工品の販路開拓を目標に、「トビタテ！留学JAPAN」でフィリピン、ハワイに留学しました。現地でのインターンシップやバイヤーの方へのヒアリング調査、テストマーケティング等の活動を通して、熊本の柑橘類の可能性を感じるとともに、海外への販路開拓に向けた課題を再確認することができました。将来は、現在の大きなグローバル化の流れの中で、熊本の一次産業のPRや販路開拓に向けた取組みに深く関わっていける人材になりたいと考えています。



- まだ注目されていない地域や農村に眠っている熊本の魅力を観光商材化し発信する術があると考え、小さい町ながらオーストラリア観光アワードでの受賞歴もある、オーストラリアのベンディゴに留学することにしました。現在、地元の人たちとコンタクトを取りながら、ベンディゴの観光業について学んでいます。帰国後は、所属している学生団体Kumarismやインターン先での活動を通して、ベンディゴで学んだ観光形態を熊本の観光に還元したいと考えています。そして、将来は、地域に寄り添い熊本の良さを世界中の人に伝えられる人材になりたいです。
- 「トビタテ！留学JAPAN」に応募をした理由は二つあります。一つは、長期休暇を使って自分を最大限に成長させたいと考えたからです。二つ目は、将来熊本で自分で事業を立ち上げたいという夢の元、その夢の過程に良い影響を与えてくれる人間関係を築くことができると考えたからです。海外のインターン先で学んだ技術は、サービスとして世に出す上で必要不可欠な技術であり、現在、県内ベンチャー企業で研修を受ける上でも役に立っています。今後、30歳を迎える前に熊本で起業できるよう、より一層の勉学に励みます。